

湖都通信

滋賀医科大学同窓会「湖医会」



61

2009.10.1

2009年度

総会のご案内

出欠・委任は
返信用紙、メールで！
10月21日(水)必着

留学私話 2～3
第48回幹事会議事録 4
学生のページ 5

若鮎祭 6
LITTLE WINDOW 7

10月24日(土) / 基礎講義実習棟2階 B講義室

第23回「湖医会」総会

15:00～

<議題>

- | | |
|------------------|--------------|
| 1, 2008年度事業報告 | 5, 2009年度予算案 |
| 2, 2008年度決算報告 | 6, 会則の一部改正 |
| 3, 2008年度奨学金収支報告 | 7, 役員の改選 |
| 4, 2009年度事業計画案 | 8, その他 |

一人でも多くの会員の出席をお待ちしております。尚、ご欠席の場合は、同封の委任状の提出にご協力ください。メールでも OK です。

■「西医体・西コメ等」応援ありがとうございました



会員のみなさま6名、57,000円の寄附が集まりました。
ありがとうございました。今後もみなさまの、温かい応援よろしくお願いします。
各部の結果は、<http://www.koikia.org> をご覧下さい。

(関連記事5頁)



アメリカで放射線科医として働いて

Michael E. DeBakey VA Medical Center
Assistant Professor of Radiology, Baylor College of Medicine

小林 勝弘 (医13期生)



「湖医会」の皆様、こんにちは。私は2008年7月よりアメリカ、テキサス州ヒューストンにある Michael E. DeBakey VA Medical Center (MEDVAMC) で放射線科医として働いています。MEDVAMC は米国政府の退役軍人局 (veterans affairs) が運営する退役軍人のための病院 (535床) で Baylor 医科大学の教育病院でもあります。私はもともと2年間の予定で臨床留学をしていたのですが、テキサス大学の教授から今のポジションのお話をいただき、現在に至っています。スタッフとして働くまでの経過と、実際に働いた感想をお話させていただきます。

～弁護士に依頼した労働ビザの取得～

米国で働くには米国国務省が発行する労働ビザが必要です。私の場合は臨床留学の際に取得した J-1 visa (交流訪問ビザ) から H1-B visa (専門職の就労ビザ) に切り替える特殊なケースであったため、手続きがかなり煩雑でした。カルフォルニア在住の日系の弁護士に依頼し、ようやく労働ビザを手に入れました。



Michael E. DeBakey VA Medical Center

～苦労した州医師免許の取得～

病院で働くためには州の医師免許を取得する必要があります。テキサス州では外国人医師の場合、本国で受けた医学教育がテキサス州のそれに相当することを証明する書類を提出しなければなりません。この書類はかなり多く、準備が大変でした。学生課をはじめとする多くの大学関係者の方々にお世話になり、この場をお借りして御礼申し上げます。最後にオースチンにあるテキサス州医事局へ英語の面接に出かけました。これもなんとか無事終了。医師免許を手元に受け取るまでなんと約1年かかりました。(ちなみにこの免許は2年ごとに更新が必要で、その際には一定の生涯教育単位が必要になります。)

～厳しい審査からなる就労手続き～

州の医師免許を取れば、次は病院に就職するための書類手続きが待っています。米国では通常、病院ごとに clinical privilege (医療行為を行うための許可) を得る必要があります。日本のように医師免許があれば、どこの病院でもほぼ全ての医療行為が許されるということはありません。自分の卒後教育および専門分野の経験した症例数に応じて許される医療行為が決められます。過去に勤務した病院からの人物調査書および2、3通の推薦状も必要です。また何人かの病院のスタッフと面接がありました。このように厳しい審査を経て最終的に病院の人事委員会で採用および許可される医療行為が決定します。

～実際に働いて～

アメリカは人種のもつぽと言われますが、病院はまさにその縮図です。私のボスはインド出身で、放射線科内にはヨルダン、パキスタン、マレーシアから来ている同僚がいます。異なる文化的背景を持つ人々と共に働くことはとても刺激的で、まさしくアメリカ生活の醍醐味です。

英語にはいまだに苦労しています。放射線科では音声認識ソフトを使って読影レポートを作成するのですが、私の日本語なまりの英語はなかなかうまく認識されません。とんでもない単語が出てきたりして毎日苦笑しています。またナースには “Breathing と Bleeding の区別がつかない” とよく言われます。とにかくゆっくり発音することを日常心がけています。

言葉や国が変わっても、医学は変わりません。米国で行う私の医療行為も滋賀医科大学で受けた教育が土台になっています。実際にこちらで働いてみて、滋賀医科大学での卒前・卒後教育で得た知識や技能はこちらでも十分通用することを実感しています。今から振り返っても素晴らしい教育を受けることができたと感じています。米国での医療に興味がある方はいつでもご連絡ください (E-mail: kobayash@bcm.edu)。母校の益々の発展を祈念しております。



ふるさととは遠きにありて…

Clinical fellow, Cardiac Surgery Unit, Royal Children's Hospital

岡 徳彦

(医17期生)



皆さんこんにちは。17期生の岡徳彦です。滋賀医大を離れて10年以上、日本を離れて4年以上の歳月がたちました。カナダ、トロントでの約3年半の留学生活の後、昨年の12月よりオーストラリア、メルボルンにあるRoyal Children's Hospitalの心臓外科にてクリニカルフェローとして働いています。

トロントではThe Hospital for Sick Childrenにて、12期生の田中基先生、同期の藤谷昌司、真弓夫妻とともに勤務しておりました。(詳細は湖都通信58号をご覧ください。)残念ながら、メルボルンでは卒業生の方とはめぐり会えておらず、“「湖医会」メルボルン支部会”は開けておりませんが近況報告をさせていただきます。



野生のコアラ

メルボルンはシドニーに次ぐオーストラリア第二の都市であり、オーストラリア南東に位置するビクトリア州にあります。文化の中心都市であり、テニスの全豪オー

ブン、F-1、競馬のメルボルンカップなど世界的なスポーツイベントも多く行われます。ギリシャ、イタリアなどヨーロッパ系の移民が多い影響か、町のいたるところにヨーロッパの面影を感じます。気候は至って穏やかですが、日内の変動は激しく、よく「メルボルンは一日の中に四季がある」といわれます。メルボルンのシティエリアにはトラム（路面電車）が網の目のように走っており、人々の重要な移動手段となっています。メルボルンは大都市であるにもかかわらず、町のいたるところに大きな公園があります。このように、便利でありながら大都会にありがちな堅苦しさがないあたりが、Liveability（住みやすさ）ランキングで常に世界の上位にランクされている要因ではないかと思います。メルボルンから車で1～2時間移動すると大自然に触れることができます。野生のペンギンやアザラシ、コアラ、カンガルーなどを近くで見ることがもできます。海が近く、休日ともなると多くの同僚がサーフィンに出かけて楽しんでいます。

さて、私が勤務しているRoyal Children's Hospitalはメルボルンのあるビクトリア州だけでなくオーストラリア全体の中心となる小児病院です。全オーストラリアから、難しい疾患を持った子供たちが治療のためにやってきます。小児心臓外科領域は世界的にもその名を知られており、現在に至るまで、世界各国から数多くの外科医が訪れ、臨床研修を行ってきました。日本も例外ではなく、現在日本の小児心臓外科のトップといわれる方々の中にもここ

で研修された方が多くおられます。毎日3～4例、年間で約700～800例（うち開心術は450～500例）ほどの先天性心臓手術をスタッフ3人、フェロー3人、計6人の外科医で行っています。手術に明け暮れる毎日ですが、雑用はあまりなく、忙しいながらもQOLはそれほど悪くありません。

さて、話は変わりますが、昨年57号湖都通信に掲載されていた吉川前学長記念座談会の記事に、学外にいる国内外の卒業生のリストを作って、在校生や卒業生が訪問できるようにしてみようかという提案がありました。以前トロントで数名の滋賀医大の学生さんを案内させていただく機会がありました。学生さんにとって、若いうちから国内外のいろいろな施設を見学するのはとてもいい刺激になるのではないかと思います。自分にとっても、改めて滋賀医大とのつながりを感じ、彼らからもいい刺激を受けました。また卒業生の方にとっても、そのようなリストがあれば国内、国外留学、施設見学の情報源として大変役立つのではないかと思います。卒業して10年以上たちましたが、今まで何も母校に対する恩返しをしていません。せめてこのような形でもお役に立てればと思っています。また皆さんの中でメルボルンでの短期の見学もしくは留学に興味のある方はお手伝いいたしますので、ぜひご連絡ください。(norihiko@rr.ij4u.or.jp)



第48回幹事会

日 時;2009年8月10日(月)

場 所;「湖医会」事務室(クリエイティブ・メサ・ーションセンター)

出席者;渡辺会長、相見副会長、金子副会長、白石副会長

茶野副会長(選挙管理委員会代表代行)、永田幹事

※幹事114名のうち過半数の出席者77名(出席者6名、委任状71名)があり会は成立。

書 記;奥野(事務局)

1. 報告事項

- ・事務職員の退職及び新規採用について
4月30日付けで垣江氏の退職を承認し、5月1日付けで奥野氏を新規採用した。
- ・湖医会賞の選考について
湖医会賞への応募は1件あり、選考委員4名による書面審査の結果、不採択となった。

2. 協議事項

- ・役員選挙について
議長から、5月21日に公示した役員選挙について、期限までに立候補の申出がなかったため、役員選出規程に基づき、本日の会議を選挙管理委員会と幹事会の合同会議として開催し、予め原案を検討し総会に提案する旨の説明があった。

①会長

会長の業務を確認し、大学の経営協議会の委員としては、外部委員ということから大学外の人が望ましく、また、急な代理が難しいことから融通の効く大きな機関におられる人が望ましい等々意見があり、現会長の内諾が得られもう1期お願いすることとなった。

②副会長

現在の活動状況等を勘案し、9名が推薦された。ほかに会長推薦で、1名打診することとなった。

③幹事

各期生推薦以外の幹事として、2名が推薦された。
また、常任幹事として、8名が推薦され、総会后、会長から正式に委嘱されることとなった。

④監査役

2名が推薦された。

⑤総会での役員選出等について

役員選出規程第六項に基づく選出の流れについて確認された。なお、総会は10月24日に開催することが確認された。



差し入れありがとうございました！

ラグビー部の優勝、ボート部の総合6連覇達成など今年も好成績が生まれました。
「西医体・西コメ等」応援キャンペーンへの協力をはじめ学生に声援を送ってくださった
みなさんありがとうございました！



<サッカー部>

ご声援に応じて良い結果を残したかったのですが、2回戦敗退という形で終わりで非常に残念です。
来年は西医体制覇という目標のもと日々邁進していきますので、ご声援をよろしくお願いいたします。
ありがとうございました。(男子バレー部)

日頃からの応援ありがとうございます。また今回は、空手道部にスポーツドリンクなどのご寄付ありがとうございました。今年の結果は非常に不甲斐なものとなり、部員一同悔しい思いをしています。今後、よりよい結果を報告できるよう頑張りたいと思いますので、応援よろしくお願いいたします。(空手道部)



<バドミントン部>

応援してくださった先輩方へ、ありがとうございました。(野球部)

OB・OGの方々の応援のおかげで、このような結果を残せたことと思います。バドミントン部の代表としてキャプテンの前田がお礼を述べさせていたのですが、部員一同大変嬉しく思っています。これからもOB・OGの方々に恥じることをない結果を残せるように練習を頑張っていきたいと思います。またお時間がございましたら、体育館にも足をお運びください。(バドミントン部)



<合気道部>

応援してくださった先生方、本当にありがとうございました。大会を終えて改めて、試合というわずかな時間に、自分の力を出し切ることが、平常心でいることが、いかに難しいか、実感しました。試合の場で感じたこと、学んだことを、普段のお稽古に活かしていきたいです。これからも、よろしくご指導のほど、お願いいたします。(剣道部)



<バレー部>

硬式テニス部女子は、2回戦において宮崎大学、3回戦において大阪大学、準々決勝において兵庫医科大学に勝利し、ベスト4となりました。引き続き準決勝において福岡大学と対戦しましたが、雨のため試合を全ての試合を消化できないまま最終日を迎え、途中で打ち切りとなり、今大会ではベスト4という結果に終わりました。

このような結果を残せましたのも、日頃からご支援、ご指導をいただいているOB、OGの先生方のおかげだと思っています。本当に感謝いたします。来年の西医体も頑張りますので、よろしくお願いいたします。(女子テニス部)



<ソフトボール部>

団体成績は、32校中12位と入賞なりませんでしたが、個人成績におきましては、医学科5年生沼田侑也が3位入賞することができました。この入賞に刺激され、来年度に向けまして、今年度達成できなかった団体入賞を目指して、部員一同が新たなスタートを迎えたところです。

本年度このような成績を残せたのは、日頃から部の活動にご理解いただいておりますOBの先生方のおかげであると思っております。どうか今後とも宜しく御指導御鞭撻のほど、お願い申し上げます。(ゴルフ部)

ご寄付をいただきありがとうございました。おかげで精一杯プレーすることができました。(ソフトボール部)



<卓球部>

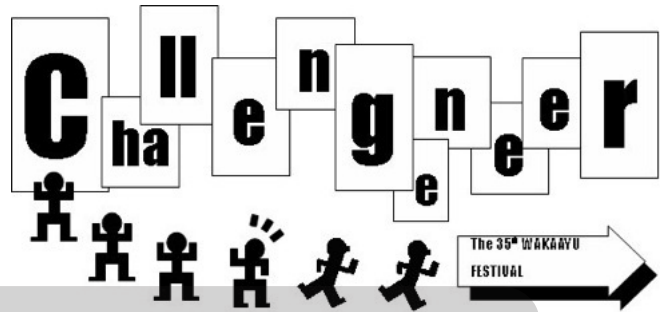
たくさんの先輩方に、応援やご寄付を頂き本当にありがとうございました。(女子バレー部)

このたびは、サッカー部にご寄付いただき、ありがとうございました。いろんな先輩方に応援いただき、よい結果を出したいと思っていたのですが、残念ながら、準々決勝で敗退という結果に終わりました。この悔しさをバネに、次の西医体ではメダル獲得できればよいと考えています。

これからも、ご指導御鞭撻を賜りますよう、よろしくおねがいします。(サッカー部)



第35回



残暑もようやく和らぎ、さわやかな秋風が吹く季節、先輩方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、本年度も若鮎祭の季節が近づいて参りました。今年で若鮎祭も節目となる35回を数えることとなりました。これまで先輩方の築き上げられてきた伝統を大切にしながらも、より地域重視・参加者重視の誰もが楽しめる学園祭を創造するべく、本年度はchallengeとpioneerからの造語であります「challengeneer」をテーマに準備を進めてまいりました。今回、私たちがpioneerとなりchallengeした試みが今後の若鮎祭の発展のための礎となればと願っているところであります。ダブルステージを筆頭に、随所に散りばめられた私たちの新しい試みを感じて頂ければ幸いです。

さて、ステージ企画は例年大人気の芸人によるライブに始まり、ギネス記録にチャレンジできる企画など来場者の皆様に参加していただける企画が盛り沢山です。また、恒例となつてまいりましたKing of Entertainersでは、最近の滋賀医大生の熱気を感じて頂けるかと思ひます。「世界がもし100人の村だったら」の著者である池田香代子氏の講演会も企画されている他、様々な企画が充実しております。

お忙しい中とは存じますが、ご家族・ご友人などお誘いあわせの上、一人でも多くの先輩方に足をお運びいただけたらと実行委員一同願っております。

若鮎祭実行委員長 近藤 享史

メイン企画

♪医局展

10/24(土)、25(日) 10:00～17:00 ☆クリエイティブ・モバ・ーションセンター
頭痛って?肩こりって?日頃の疑問を解決します!

♪講演会

10/25(日) 13:00～14:30 ☆臨床講義棟2F 臨床講義室3
「世界がもし100人の村だったら」の池田香代子氏による講演会

♪健康チェック・測定

10/24(土)、25(日) 10:00～16:00 ☆体育館
身長・体重などの簡単なものから骨密度・血液サラサラ度まで!

♪スタンプラリー

10/24(土)、25(日) 10:00～17:00 ☆校内全域
全てのスタッフを集めた人の中から抽選で「韓国ソウル2泊3日の旅」!

ステージ企画

☆10/24(土)☆

<メインステージ>

10:00 開会式
10:30 King of athlete
13:00 軽音LIVE
15:30 アカペラ
16:00 クイズ対抗クイズ決勝
17:30 Ms.Mr中間発表
18:00 King of Entertainers

<サブステージ>

11:00 執行部で出し物
11:30 管弦楽団ミニコンサート
12:00 大道芸
13:00 じゃんけん大会
14:00 クイズ対抗クイズ予選
15:00 管弦楽団ミニコンサート
15:30 紙飛行機飛ばし
16:00 アカペラ

☆10/25(日)☆

<メインステージ>

11:00 裏ミスコン
12:00 CM
12:30 アカペラライブ(学外)
13:00 ギネスにChallenge!
15:00 お笑いLIVE
16:00 ビンゴ
17:00 アカペラ
17:45 Ms.Mr 結果発表
18:15 フィナーレ

<サブステージ>

11:00 管弦楽団ミニコンサート
11:30 SUMSのたまご
13:00 うたへた
13:30 管弦楽団ミニコンサート
14:00 The ○× Quiz Show!
16:00 アカペラ

☆☆詳しくは、<http://www.shiga-med.ac.jp/~wakaayu/top.html> にて随時情報更新中☆☆



ご案内 同期会のお知らせ



- ★卒後20年同期会医学科9期生
2010年3月27日(土)開催
- ★卒後10年同期会医学科19期生
2010年2月27日(土)開催

- ★卒後10年同期会看護学科2期生
2009年12月5日(土)開催
- ★卒後10年同期会看護学科3期生開催予定
- ★卒後 5年同期会看護学科8期生開催予定

大学からの ご案内

琵琶湖プライマリケア・リフレッシュコース開催のご案内

(プライマリケア医の生涯学習促進を目的とした実用的なセミナーです!)

テ ー マ : いまさら聞けない糖尿病
講 師 : 雨森 正記 先生(医療法人社団弓削メディカルクリニック院長)
日 時 : 平成21年11月29日(日) 午前9時55分～午後5時
場 所 : ピアザ淡海 会議室
参 加 日 : 医師 10,000円、研修医(初期) 1,000円
※テキスト代と昼食代を含みます。当日現金でお支払いください。
申 込 先 : 滋賀医科大学学生課教育支援係(上野)
E-mail: hqgaku@belle.shiga-med.ac.jp
Tel: 077-548-2068 Fax: 077-548-2799
申込締切: 平成21年11月20日(金)
※講師への事前の質問を歓迎します。上記の申込先へ遠慮なくご連絡ください。
※本企画は日本医師会生涯教育制度指定講習会(3単位)に認定されています。
主 催 : 滋賀医科大学琵琶湖プライマリケア・リフレッシュコース事務局
詳しくは本学ホームページまで
<http://www.shiga-med.ac.jp/oshirase/091129.html>

2009年度 滋賀医科大学看護学科 保健師部会からのお知らせ

初秋の頃、保健師の皆様いかがお過ごしでしょうか。皆様は日々それぞれの現場でご活躍されていることと思います。

今年度も恒例の保健師仲間との交流会を開催します。是非ご参加ください。

日時: 平成21年12月5日(土)

18:00～20:00

場所: 京都停車場前 きくおか
(京都駅徒歩5分)

お知らせ



口座振替および一般VISAカードからの「湖医会」年会費は10月中旬に自動引き落としとなります。

なお、便利な口座引き落とし振替用紙をご希望の方は事務局までご連絡下さい!!

総会の 委任状はメールで! ... e-mail: koikai@koikai.org

ご協賛
ありがとう
ございます

サノフィ・アベンティス株式会社